

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法	単位数	4単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
該当なし			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>この授業のテーマはミクロからマクロまでの次元で行われるソーシャルワーク実践の体系的理解である。到達目標としては以下の項目が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク実践の構成要素について理解する。 ・個人ならびに小集団にかかわるソーシャルワーク実践過程を理解する。 ・実践において活用される実践理論・アプローチの知識を身に付ける。 ・ソーシャルワークの業務保証につながるスーパービジョンについて理解する。 			
授業の概要			
<p>ソーシャルワーク実践の基盤となる「人と環境の交互作用に関する理解」を踏まえ、ソーシャルワーク実践過程の全容と各フェイズにおける要点を解説する。また、実践において活用される理論やアプローチについて要点を解説する。加えて、ソーシャルワークの業務保証につながるスーパービジョンについて解説する。</p>			
授業計画			
<p>第1回 ソーシャルワーカーの人間観・社会観、視点の広がり ソーシャルワークの過程と留意点（ミクロ支援）</p> <p>第2回 ソーシャルワークの過程（1）クライアントとの協力体制形成 ソーシャルワークの過程（2）インテーク：開始と契約</p> <p>第3回 ソーシャルワークの過程（3）アセスメント：情報の収集 ソーシャルワークの過程（4）アセスメント：理論にもとづく情報の整理・統合 ソーシャルワークの過程（5）アセスメント：ソーシャルワーカーの判断と共有</p> <p>第4回 ソーシャルワークの過程（6）プランニングの目的と意義 ソーシャルワークの過程（7）プランニングの過程と方法</p> <p>第5回 ソーシャルワークの過程（8）支援の実施とモニタリング ソーシャルワークの過程（9）支援の終結と評価</p> <p>第6回 ソーシャルワークの記録（1）記録の意義と目的 ソーシャルワークの記録（2）記録の内容とフォーマット</p> <p>第7回 ソーシャルワークの実践理論（1）ソーシャルワーク理論・理論の変遷（概観）</p> <p>第8回 ソーシャルワークの実践理論（2）医学モデルと生活モデル、システム理論 ソーシャルワークの実践理論（3）心理社会的アプローチと機能理論 問題解決アプローチ</p> <p>第9回 ソーシャルワークの実践理論（4）行動理論と課題中心アプローチ ソーシャルワークの実践理論（5）認知行動理論</p> <p>第10回 ソーシャルワークの実践理論（6）危機理論、危機介入アプローチ ソーシャルワークの実践理論（7）ストレングスモデルとエンパワメント</p> <p>第11回 ソーシャルワークの実践理論（8）ナラティブ ソーシャルワークの実践理論（9）解決志向アプローチ</p> <p>第12回 ケースマネジメント（1）意義と目的 ケースマネジメント（2）方法・過程</p> <p>第13回 グループワーク（1）意義と目的、グループの構造 グループワーク（2）展開過程～準備期から開始期</p> <p>第14回 グループワーク（3）展開過程～開始期から作業期 グループワーク（4）展開過程～作業期から終結期</p> <p>第15回 スーパービジョンの目的・意義・機能 スーパービジョンとコンサルテーションの活用</p>			
スクーリングでの学修			
<p>2回のスクーリングの内容は以下のとおりである。</p> <p>1回目：ソーシャルワーク実践の過程について事例を活用しながら具体的に学習する。</p> <p>2回目：ソーシャルワーク理論の代表的理論を学習する。</p>			
テキスト			
<p>◎一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（2021）『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座12・ソーシャルワークの理論と方法【共通科目】』中央法規 ISBN-13：978-4805882429</p> <p>◎鈴木孝典・鈴木裕介編著（2023）『図解でわかるソーシャルワーク』中央法規 ISBN-13：978-4805889589</p>			
参考書・参考資料等			
<p>◎川村隆彦（2011）『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』中央法規 ISBN-13：978-4805834282</p> <p>◎前田ケイ（2021）『私の体験的グループワーク論一現場ですぐに役立つ実践技法を伝えま す』金剛出版 ISBN-13：978-4772418713</p> <p>◎井出英策他著（2019）『ソーシャルワーカー』ちくま新書、筑摩書房 ISBN-13：978-4480072474</p>			
学生に対する評価			
レポート評価（30%）、スクーリング評価（40%）、科目修得試験（30%）			